

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 21 日作成)

小委員会名	シール材性能設計研究小委員会	主 査 名：山田人司 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)	委員長名：本橋 健司 主 査 名：堀 長生
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>シーリング材及びガスケットを使用した接合部の性能設計に必要な定量的な耐久性評価方法を提案し、評価方法の整備と評価結果の性能設計への適用方法を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 年度：評価試験方法の試行とその結果の精査、耐久性評価試験の検討</li> <li>・ 12 年度：評価試験方法の基準化、性能設計への適用方法の検討と提案、シンポジウムの開催</li> <li>・ 13、14 年度：外壁目地防水の性能設計のガイドライン作成検討と提案</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査:山田人司 (ハザマ)、幹事:添田智美 (フジタ)、委員:岩田克博、伊藤彰彦、杉山茂樹、榎本教良、高橋明、高橋敏文 (日本シーリング材工業会)、久住明 (カネカ)、佐々木哲也 (プレコンシステム協会)、川端芳英 (建築ガスケット工業会)、樋口豊 (カーテンウォール・防火開口部協会)、吉田元信、野澤廣義 (全国建築石材工業会)、本郷雅也 (東日本シーリング工事業協同組合)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>1) 接着耐久性 WG (接着性評価方法の基準化)、2) 耐疲労性 WG (耐疲労性評価方法の基準化)、3) 汚染防止性 WG (汚染防止性評価方法の基準化)、4) 耐候性 WG (耐候性評価方法の基準化)、5) ガスケット WG (ガスケット耐久性評価方法の基準化) WG、6) 設計 WG (性能設計法の適用検討、シンポジウム企画)</p>	
2012 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	<p>1. シンポジウム「外壁接合部の目地防水における性能設計に向けて」<span style="float: right;">参加者数 67 名</span></p> <p style="text-align: center;">「外壁接合部の目地防水における性能設計に向けて」資料集</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 評価試験方法の基準化と提案</p> <p>2. 性能設計への適用方法の提案</p> <p>3. シンポジウムの開催 以上、当初目標を達成</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 外壁目地防水の性能設計手法の公開方法が検討課題